

## 漁港にランドマーク

母方の実家は漁港近くにあった。船の大きさからしてかなり遠くまで漁に出かけるものと思われた。陸揚げされるトロ箱から見たこともない魚が零れ落ちる。毎日が活気にあふれていた。そこは古くから港町が開けた神戸市長田区の漁港であった。私は幼いころからこの海と砂浜で遊ぶ環境にあった。魚は毎日の食卓を贅沢に飾った。

海に囲まれた我が国土には2,914もの漁港がある。長い海岸線には時に良港の条件を満たした場所がたくさんある。新潟県村上市笹川流れ付近にある「寝屋漁港」もその一つだ。日本海に面して北へ進むとごつごつした荒削りの鉾立岩が突然目に入る。高さ65mほどの直立した奇岩である。更に南には立岩があり天然の漁港を造っている。近年には安全と便利さが工夫され、コンクリートの岸壁と堤防が備えられた立派な漁港である。



ヨーロッパでの漁港では遠くからでも自分の家分かるように、黄、赤、青、緑、茶等々の家に色分けがされている。漁師は愛する家族との再会と無事帰還の感謝の気持ちを、一刻も早く伝えたかったに違いない。遠くからでも見分けられる我が家を見ると安堵するのであろう。

寝屋漁港にとってこの鉾立岩は言わばランドマークの存在であった。遠くの海よりこの岩を見つけた時の喜びは男として想像が着く。この港には84隻の漁船が、タラ類21%、ヒラメ・カレイ類14%、サケ・マス類、はたはた、するめいか他、1664.7トン707百万円の陸揚げをしている。その方法は小型底引き網、定置網などである。日本は豊かな海に感謝だ。撮影 2013年春

